

## ILSI Japan 活動報告<2020>

### 食品機能性研究会

#### 【AI 栄養・機能性研究部会】

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	<p>ILSI Japan の新共同研究講座について、7月の理事会で承認され、「AI 栄養・機能性研究部会」の開設に向けた検討を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・説明会の開催 参加者の募集のための説明会を6回実施した（8月22日午前、午後、25日、9月1日、7日、15日）。参加者は、ILSI 会員企業が27社47名、会員以外の企業様が28社43名であった。</li><li>・申し込み状況 10月末時点で、9社から参加企業の申込があった。新たに ILSI 会員となった企業は1社であった。</li><li>・開講オリエンテーション 新共同研究講座の開講に向けたオリエンテーションを10月5日に、WEBで開催し、9社25名が参加した。</li><li>・研究オリエンテーション 東北大学未来科学技術共同研究センター主催の「AI ディアトロフィ研究部門」（10月22日）、国立健康・栄養研究所主催の「AI 栄養機能プロジェクト」（10月23、30日）に、オリエンテーションを開催した。</li></ul>
11, 12 月	<p>AI 栄養・機能性研究部会の研究活動を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・AI 栄養機能プロジェクト：研究実務担当者会議（11/13、12/11 Zoom）では、健康長寿 AI（フレイル）及び和食を研究テーマ事例に選定し、各テーマのテーマリーダーを選出した。月例会議（11/27、12/25 Zoom）では、研究の方向性と会議の運営について議論をした。</li><li>・AI ディアトロフィ研究部門：研究会（11/26、12/22 Zoom）で、代謝経路のイジングモデルの基本設計のため、ビタミン C を題材にイジングモデル化の検討結果について東北大学より報告された。</li><li>・参加企業数：新たに1社の参加申し込みがあり、10社となった。</li><li>・募集活動：説明会に参加した企業に対し、メールで研究部会の近況の情報共有を行い、個別面談の希望があった2社と Zoom で情報交換を行った（11/24、11/26）。新たに、本講座に問い合わせのあった1社と Zoom で個別面談（12/23）を実施した。</li><li>・令和3年度の東北大学との共同研究申込書を締結した（12/25）。</li></ul>